

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



2021

2

No. 779



色鮮やかに人々を癒す
龍蔵寺の冬ボタン



無病息災を祈願!良い年になりますように
子ども会どんど焼き

CONTENTS

インフォメーション…… 2

【吉敷さんぽ◎】
「治水の碑」…… 3

【トピックス◎】
良城クラブ会長・藤井保行さん
による講演会…… 4

【健康レシピ◎】
「かぼちゃにんじんだんご」…… 5

【吉敷の福祉・健康】
ふれあい型給食会…… 5

【トピックス◎】
サロン忘年お楽しみ会で
第21回「上東川柳会」を開催…… 6

レポート…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,649(前月比 -5) 【世帯数】6,332(前月比 -5)

令和3年1月1日現在



イベント案内

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

■地区人権学習推進大会（中止）

つどいの広場「楽楽楽」講座

「味噌づくり」

みんなで美味しい味噌を作ってみませんか？楽しく教えていただけますよ！

■とき 2月24日（水）10時～12時

■場所 地域交流センター 調理室

■講師 本城節子氏・大町 佳奈氏

■参加費 500円／一組（材料代・託児代込み）

■対象 未就園児と保護者8組

■準備 エプロン、三角巾、ふきん、マスク、水筒、おむつなど

■申込 2月15日（月）締め切り

申込み多数の場合は抽選にて決定します。結果は後日電話にてお知らせします。

■申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035



歴史文化講演会

大内氏の海外通商ルートでもあった道場門前の安部橋から吉敷を経て豊北町の肥中港に至る肥中街道を演題とした講演会を開催します。

本年度、吉敷地域文化振興協議会において、管内の肥中街道の道しるべとなる石碑を16か所設置することにしており、その紹介も行います。

講師は、美東町の歴史文化の掘り起こしや保存、活用に取り組んでいる長登銅山文化交流館の小田村館長にお願いしています。

当日は、感染予防対策のため、マスク着用のご協力をお願いします。

■とき 3月7日（日）10時～11時30分

■場所 地域交流センター 講堂

■演題 美東町の肥中街道と大内義隆の敗走伝説

■講師 小田村宏氏（長登銅山文化交流館館長）

■定員 30名

■主催・申込 文化振興協議会

☎083-922-1334



「ひよこまんじゅうづくり」

可愛いひよこのかたちのおまんじゅうを作ってみませんか？

■とき 3月3日（水）10時～12時

■場所 地域交流センター 調理室

■講師 本城節子氏・大町 佳奈氏

■参加費 200円／一組（材料代・託児代込み）

■対象 未就園児と保護者8組

■準備 エプロン、三角巾、ふきん、マスク、水筒、おむつなど

■申込 2月22日（月）締め切り

申込み多数の場合は抽選にて決定します。結果は後日電話にてお知らせします。

■申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035

ぜったい役立つ！

ママの防災力UP講座

気候変動による自然災害が他人ごとではなくなっています。大切ないのちを守るために、災害時に役立つ防災力を身につけましょう。もしもの時の為に知っておくことは大切ですよね。

■とき 3月5日（金）10時～11時

■場所 地域交流センター 講堂

■講師 日本赤十字社山口県支援職員

■対象 未就学児の保護者 24名

託児有（要申込・先着順、定員に達し次第締め切ります）

■主催 母子保健推進員

■申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915

吉敷ベタンク交流大会

ベタンクをしながら、交流しましょう！初心者でも十分に楽しめます。当日はマスクを持参してくださいね。

■とき 3月7日（日）8時30分集合（雨天中止）

■場所 ちよるる広場

■対象 中学生以上の方60名（先着順）

■申込締切 2月19日（金）

■主催 地区社会福祉協議会・良城クラブ

■申込 地区社会福祉協議会

☎083-922-1334

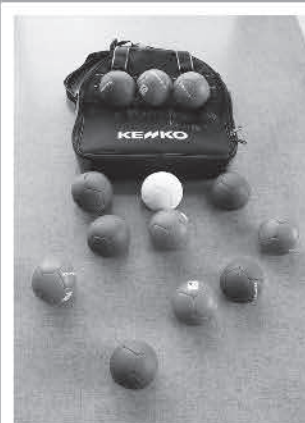
ポッチャの用具を貸出します

赤い羽根共同募金配分事業の「みんなに優しいまちづくり支援事業」補助金で、レクリエーションポッチャの用具を購入しました。

ポッチャはベタンクに似た競技です。集会所などの室内で、誰でも簡単に楽しむことができます。9セットありますので、ふれあい・いきいきサロンや団体のレクリエーションでご利用ください。

■問い合わせ 地区社会福祉協議会

☎083-922-1334



治水の碑

吉敷川は、川の底に砂や小石が沈積しており、水が川の表面を流れずに地下に浸透するため「水無川」と言われています。

昔は、夏になると水がなくなり、稲が枯れてしまうことがたびたびあったようです。

このため、吉敷では、各地に、堤や用水路の整備など、治水に尽くした人々を称える碑が建てられています。

上東の小田平兵衛は、庄屋の職にあり、干ばつに苦しむ農民の姿を憂い、文化12年(1815)に代官所に願

い出て、寺領(今の赤田)の奥の野口に堤を築きました。

これにより日照りが続いても五十余町の耕地が枯渇することが無くなりました。寺領に「野口陂碑」が建てられています。

赤田の矢田太兵衛は、吉敷川の四の宮の下から水を赤田、佐畑、中村などの水田に引く用水路を新設しました。

これにより下流五十余町の耕地を枯渇の被害や大水の時の堤防決壊の難から救いました。赤田に「矢田義溝碑」が建てられています。

中村の野村勇は、中村、木崎の田の水が乏しいのを憂い、挫折や誹謗を意に介さず日夜努力して、吉敷川の水を引いて田に注ぎました。

また、米蔵を設け、飢饉に備えました。中村の古四の宮に「溝倉設施表徳之碑」が建てられています。



野口陂碑



矢田義溝碑



溝倉設施表徳之碑

読者のみなさまからの投稿を募集します

「ふるさとだよりよしき」の紙面に掲載してほしい情報・写真などの投稿を募集します。

イベント紹介、景色や人物・ペットの写真、イラスト等のほか、掲載記事に対する感想・取り上げてほしい事柄などを気軽に寄せください。いただいた投稿は広報委員会で開催し、採用されたものを掲載します。※全ての投稿を掲載できない可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

【申込方法】投稿記事に住所・氏名・電話番号を明記して、郵送またはご持参ください。(写真等は、データも併せてお持ちください。)

【注意】

◆吉敷に関連するもの、もしくは吉敷在住の方による投稿に限りです。

◆文章は400字以内。

◆掲載にあたり、記事は一部修正する場合があります。

◆写真はご自身で撮影したものに限り、人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。

◆記事は随時募集しますが、イベント情報などは2カ月前にはお知らせください。

【申込先】広報委員会事務局

〒753-0816 山口県吉敷佐畑二丁目4番1号 (吉敷地域交流センター内)
☎083-922-1334

地域交流センター

定期利用団体募集

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの一年間を通して、地域交流センターを定期的に利用される団体を募集します。

【応募資格(要約)】

- ・社会教育、生涯学習に寄与する団体で、地域に公開性、公共性がある活動を行う団体であること。
- ・団体会員数が5人以上で、かつ3分の2以上が吉敷在住であること。
- ・営利目的の活動ではないこと。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)
- ・地域で開催される行事に積極的に協力できること。

【申込書類】地域交流センターに設置

【申込方法】所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

【申込期間】

2月1日(月)～2月17日(水)

【利用調整会議】

各団体から必ず1名以上の出席をお願いします。

とき 2月24日(水)18時

場所 地域交流センター 講座室

問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915

歳末助け合い募金のお礼

歳末助け合い募金にご協力をいただいた地域の方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

良城クラブ・藤井保行会長による 講演会「野球人生まっしぐら」

12月7日(月)、上東公民館において、講師の藤井保行さんによる講演会が開催され、次のように野球への熱い思いが語られました。

「たかが野球、されど野球！」
「ああ栄冠は君に輝く」

遠き昔の戦後間もない少年時代、赤バットの川上・青バットの太下を夢見ながら、三角ベースなる野球を夢中でやったものです。

高校では憧れの野球部に入部、早速夢が実現しました。昭和28年、我が下関東高校(現豊浦高校)は、38年ぶりに西中国代表として甲子園出場を果たしました。

アルプススタンドを埋め尽くした大観衆が見守る中「ああ栄冠は君に輝く」が囁き響く開会式の感激は、一生忘れることができません。



藤井保行さん

教師生活も野球とともに

時が流れ、教師となり中学校野球に取り組みました。中学生との長き喜怒哀楽の野球物語は、私の貴重な財産となっています。

中でも、育成学校時代の子供たちとの七年間の関わりは痛烈でした。夢を忘れた薄幸な子供たちと、家族もろとも糧食を共にしながら、過酷な日々を過ごす中で、野球を教えた。

おかげで、全国教員野球大会では、優勝・準優勝の夢もかなえてやる事が出来ました。

またある時は、山口市内中学校の精鋭を集めた選抜チームを率いて訪韓し、韓国中学生との交流試合の経験させていたことも忘れられない思い出です。



退職後も、やっぱり野球

定年退職後、第二の人生どのような過ごし方か? 「やはり野球だ!」

これから高校で新たな硬式野球を始める子供たちに役立つような練習の場を開設しようと決意しました。

また、野球の技術面だけでなく、精神面をも鍛えたいという思いで、「山口野球道場」と銘打って、平成12年8月に立ち上げました。

鍛錬内容は野球の基礎基本から、各自の体力・能力に応じた地道なカリキュラム、礼儀作法や感謝の気持ちなど、他の指導者と共に多面にわたる綿密に作り上げました。

指導者・コーチ陣は、かつての高校野球指導者・選手・教員さん達に頼みました。ボランティアにもかかわらず、快く引き受けていただきました。しかし、会場の確保が難しく、西京スタジアムや市内の高校・中学校のグラウンド、時には自衛隊や河川敷公園など、転々と渡り歩くありさまでした。

この活動はマスコミにも取り上げられ、県下各地からの入門者が増えて、多い年には74名にもなり、8年間続く中で、414名もの球児を送り出しました。

彼らのほとんどは高校球児として活躍してくれたので、道場出身の子が甲子園に出場してくれるのが楽しみでした。

平成17年には、宇部商が夏の甲子園大会でベスト4まで進みましたが、その中には道場出身者が4名いて、私は三日間も甲子園に通い続けたものでした。

「山口野球道場」は8期生迄で、惜しまれながらも止むなく幕を閉じることになりました。

かつて山口県の高校は、甲子園で優勝とか準優勝などの華々しい業績を挙げています。

県内の高校では子供が減少し、大変な難しい時代となりましたが、何とか工夫して、今後も高校野球史に残るような活躍をしてくれることを祈念しています。

私の野球人生はまだまだ続いており、現在は83歳の老体ながら、選抜野球チーム「山口愛球会」で楽しんでいます。

これからも89(野球)を目標に!



A glass bowl containing three small, round, golden-brown fried items, likely potato croquettes, each topped with a dollop of yellow sauce and three small orange garnishes. The bowl is decorated with green leaves and sliced red tomatoes.

方日

① 食材を切る。

- ① かぼちゃ…一口大 にんじん…みじん切り チーズ…4等分
- ② かぼちゃとにんじんを耐熱皿に入れラップをして、電子レンジ(600W)で5分加熱する。
- ③ かぼちゃとにんじんをつぶし、ちりめんじゃこ、コーンを加えて塩とこしょうをふる。
- ④ ③をさましてから8等分にして一口大に丸める。
- ⑤ トースターのトレイにホイルを敷き、④に1/4に切ったチーズとコーンをのせて3分焼く。
- ⑥ 皿に盛り、トマトを付け合わせる。

エネルギー124kcal 蛋白質6.0g 脂質3.8g カルシウム106mg
食塩相当量0.5g

WELFARE AND HEALTH

調理ボランティア募集!!

現在、調理員の減少が課題となっています。このお弁当をきっかけに地区の高齢者の見守りも兼ねていますので、この灯を消したくありません。料理の得意な人から教わることもあり、知り合いも増え、楽しく活動しています。

ご興味のある方は、是非ご一報ください。

【代表者】上利典子

【問い合わせ】 ☎083-922-3344

会福祉協議会)

【場所】地域交流センター調理室

サロン忘年お楽しみ会で 第21回「上東川柳会」を開催

12月7日(月)、上東公民館で開催された「サロン合同忘年お楽しみ会」の中で、第21回「上東川柳会」が開催されました。

今回は、例会の番外編として、コロナ川柳・マスク川柳を募集し、この応募作品を含めた多数の作品の中から選出することになりました。

上東川柳会は、平成29年10月に立ち上げてから三年が経過し、このたび第21回目の句会を開催するまでになりました。現在では会員数22名で隔月に開催しています。

立ち上げた当初は、果たしてこれは川柳か、俳句か、散文かと悩ましい作品もありましたが、現在では、新聞紙上に掲載された作品と比較しても遜色なく、それを上回る作品も多く見受けられる程で、著しい上達ぶりを見せています。



川柳会の様子

川柳・俳句のすすめ

川柳や俳句は、ありきたりの日常をいきいきとさせ、一生楽しめる趣味として喜ばれています。

川柳は、「日々の生活と人間」を詠むので、日頃の自分や他人の行動を観察し、新聞・テレビ等から得た情報で時事を読み取り、五七五で気軽に表現すれば出来上がりです。

シルバー川柳のジャンルでは、抱腹絶倒ものの作品に出会い、人生が楽しくも、いとおしくもなります。

また、昨年から新たに俳句部門が加わり、俳句への挑戦が始まり、最近では感動を呼ぶ意欲的な作品が生まれるまでになりました。

俳句も同じ五七五の定型詩ですが、季語の力を生かして詠むことや韻律(言葉のリズム)を大切にすることなどのポイントがあります。

また、短い句の中では自分の思いを十分に述べる事が出来ず、内容がうまく伝わらないことがあり、読者になつたつもりで言葉を選ぶ勉強が必要となります。

いずれにしても、道半ば、道遠ですが、この会が会員相互の親睦と教養を高め、日常の生活において、それぞれ個人の生き甲斐に通じていることに喜びを感じています。

令和二年優秀作品十選

川柳の部

聞き上手おもわず本音しゃべらせる

小田 幸栄

逃走劇退職金もとはゴーン欲な

大木 和子

涙あり鼻水ありの花粉シヨ―

井上 敏江

上位陣留守でも相撲沸かせます

齋藤 咲子

青空のはしこ詣でに層蘇ぬける

田中 玲子

賭け雀に地位や名譽も振込んだ

小田 秀昭

貯金より貯筋が大事高齢者

齋藤 昭司

肌白しマスクの裏に惚れなおす

田福 信介

同僚の永遠の別れもマスクかけ

金築 進

コロナ禍の世間マスクもトレンド―

岡田 陽之介

俳句の部

仕舞湯の窓に紅葉の散りてゆく

古田 富美子

梅の香にうながされてや庭萌ゆる

亀本 セツ子

ときめきて摘みし緑のふきのとう

桂田 昌坦

噴き上げの光や陰なる日のひかり

田福 信介

筍と米糠来る夕べかな

大木 和子

田植終え見返りつつや泥落とし

岡田 陽之介

並びいる手記読みて座す終戦日

齋藤 咲子

秋暑し魚影映して吉敷川

田中 玲子

錦川緩き流れに浮かぶ満月

齋藤 昭司

明け渡る空に朝顔開きたり

大浦 常子



レポート

恒例の「どんと焼き」を
子ども会が開催！

1月11日(月・祝)に良城小グラウンドにおいて恒例の「どんと焼き」「ビンゴ大会」を実施し、地域の方を含め100名を超える参加がありました。書初めの練習をした半紙が空高く舞い上がると歓声が上がっていました。



お母さんの手が気持ちいい♡

1月15日(金)、母子保健推進員の企画による子育て講座「ベビーマッサージ」を、つどいの広場「楽楽楽」で開催しました。澤野佑希氏を講師に、お母さんたちは、赤ちゃんが心地よくなるマッサージを学びました。



吉敷分団から5名が表彰受賞

1月10日(日)、市消防団瀬南方面隊吉敷分団から5名の団員が、日頃の活動の功績を称える県消防協会長表彰・市消防団長表彰を受賞しました。

山口県消防協会長表彰

功績章 部長 中村 公一

勤続章(勤続30年) 団員 岩本 幸夫

勤続章(勤続10年) 団員 武居 義尚

山口市消防団長表彰

功績章 団員 前新 素保

功績章 団員 高松 豊



写真左から中村さん、岩本さん、武居さん、前新さん、高松さん

リレーエッセイ

Relay Essay

009

ふくだ なおき
福田 直樹さん(上東)



私の故郷は旧山陽道沿いの宿場町舟木で、歴史の深い盆地町です。この町で祖父母と両親、そして弟妹達と質しくも仲良く食卓を囲んでいました。

小野田工業高校に入学した年の夏休みに、突然の事でしたが交通事故で父が急逝し、その後は厳格な祖父の下で暮らすことになりました。

当時、多感な私は祖父の考えに就いて行けなくて反発し、結局は勘当の憂き目に合うことになり、裸一貫で家を出ていくことになりました。

そして、いよいよ風光明媚なここ山口に足を踏み入れたのです。思えば、その時が吾が人生の門出でした。

市内のとある酒問屋で認められ、二十年の修業を積み重ねることになりました。三十歳のときでした、見初めた彼女の両親の反対を押し切って結婚、一男一女に恵まれたのは幸いでした。

土師の杜前に現在の居を構え、酒店を営み続けて四十年の歳月が過ぎ去り、産土を離れるまでよりも遥かに長い人生を、この良城の地で送って来ました。

店の看板は「ふくだまり」(吹き溜り)、来る者は拒まず去る者を追わず、みんなちがってみんないい。

お気軽にお立ち寄りください。～ふくだまり～



1月	●あいさつの日 ●市・県民税申告相談受付(吉敷会場) 9:30～16:00
2火	
3水	●広報委員会 17:00～
4木	●町内会長会 18:30～
5金	
6土	
7日	
8月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～
9火	
10水	
11祝	
12金	
13土	
14日	
15月	
16火	
17水	
18木	●第2回良城クラブ主催G.G.大会 10:00～14:00

19金	
20土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
21日	
22月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
23祝	
24水	●楽楽楽「味噌づくり」 10:00～12:00 P.2 ●地域交流センター定期利用調整会議 18:00～ P.3
25木	
26金	
27土	
28日	

3月のおもなイベント

1月	あいさつの日
3水	楽楽楽「ひよこまんじゅうづくり」 10:00～12:00 P.2
5金	「ぜったい役立つ!ママの防災力UP講座」 10:00～11:00 P.2
	歴史文化講演会 10:00～11:30 P.2
7日	吉敷ベタンク交流大会 8:30～ P.2

広報委員 上利典子



「あいさつは心のつながり」
昨年、私だけでなく皆さんも、思うように活動や、行動ができなかったと思います。お陰で、自分を見つめる良い機会が出来たかなと思います。時代、時間は進みますが、このまま立ち止まっていては、その先が見えなくなってしまう。地域においても、各種の集會、行事がすべて延期、中止になり、なかなか思うように地域活動が前に進みませんが、少しでも何らかの足跡を残すために、個人一人ひとりが考え行動することがとても重要になります。

地域の人間関係、近所付き合いが希薄になっているときだからこそ、地域の民生委員、福祉員だけでなく地域全体で高齢者の方々に対する声掛けを実施してみませんか。「こんにちは」「お元気ですか」「何かお困りのことはありませんか」等の一言が大きな力になり、励ましになるのです。

あいさつは、心のつながりです。誰にでもできます。笑顔でみんなに元気を分けてあげましょう。

それでは、今年こそは良い一年であることを願っています。

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

